



TITLE:

創刊のことば

AUTHOR(S):

CITATION:

創刊のことば. 教育・社会・文化: 研究紀要 1994, 1

ISSUE DATE:

1994-05-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/187168>

RIGHT:

創 刊 の こ と ば

京都大学教育学部では、研究指導体制としてコース制をとっており、教育社会学、社会教育、生涯学習計画、および図書館学の四講座でD部門を構成している。大学院では、それぞれの講座ごとに専門分化したゼミナールをもっているが、学部段階では、四講座共同のゼミナールを設け、学生個々人の研究意欲を高めるとともに卒論指導も行っている。学生、院生の研究関心は多岐にわたり、ほとんどあらゆる社会現象がとり上げられるが、われわれ教官は、それらを社会構造との関連において考察する方向で指導している。要するに教官を含めてD部門に共通するのは、社会学的精神（E. デュルケーム）と社会学的アプローチによって研究をすすめていこうとする姿勢である。

このたび年来の構想が実って、研究室紀要を発行することになった。研究活動は、たゆまぬ努力と自己反省、他の研究者からの厳しい批判が必要である。今後、この研究紀要が研究の蓄積と相互批判の契機として役立つことを期待している。

ところでしばしば言われているように新制大学の文科系領域においては、博士の学位取得者が極度に少ない。そのために大学院の整備・拡充が叫ばれているのであるが、今後とも研究指導をより充実することによって優れた研究者養成をはかることが重要である。本研究紀要は、このような学問の深まりと院生の研究者としての成長もねらいにして刊行された。これが院生の論文作成など高度の研究活動の充実に資することを願うものである。

1994年1月31日

教育社会学科D部門

柴 野 昌 山（生涯学習計画講座）

上 杉 孝 實（社会教育講座）

竹 内 洋（教育社会学講座）

前 平 泰 志（社会教育講座）